

BCPをPREP（準備）してビジネスチャンスに強くなる！

事業継続マネジメント支援アプリケーション



BCP- PREP

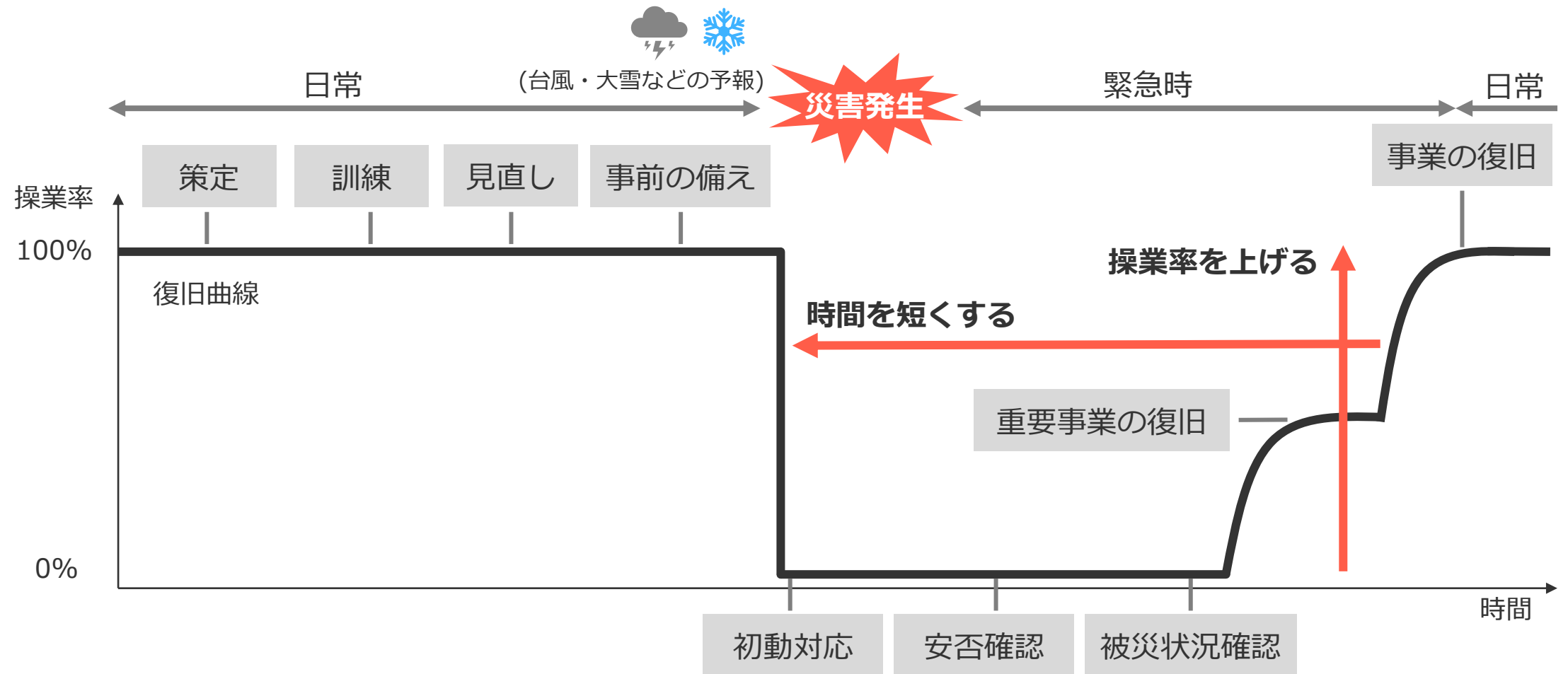
(ビーシーピープレップ)



アールシーソリューション株式会社

1. BCPの必要性

事業継続計画（BCP）は、大規模災害やパンデミックなどの緊急事態発生時、**企業の損害を最小限に留めるための計画**です。企業にとっての重要事業を把握し、緊急時にもその**事業を継続（あるいは早期復旧）**させるために策定に取り組みます。また、一度策定が済んだら終わりではなく、BCPは**見直していくこと**が重要です。

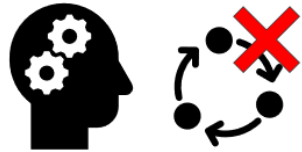


2. 企業が抱えるBCPについての課題

経営判断により重要事業を決めてBCPを策定しても、書棚の隅に置かれたままとなり緊急時に使えない…。担当者任せとなったBCPをどうしたらよいか、多くの企業が悩んでいます。

1 策定したBCPは紙ファイルに綴じて書棚に置いたまま…。

BCMS (PDCA)による見直しが容易でない。見返す機会がない。



重要事業を見直す時に使うツールがあれば…

2 BCPマニュアルは冊子にして従業員に配布したけれど…。

計画を容易に変更できない。対策の周知、共有に時間がかかる。



従業員のスマートフォンで簡単に共有できれば…

3 緊急時の状況把握はホワイトボードへの書き込みで大丈夫…?

状況把握の仕組みは安否確認のみ重要事業の状況が共有できない



重要事業の状況を管理するツールがあれば…

BCPのデジタル化が求められている

3. 当社が提案する解決策

アナログからデジタルへ！ 企業のBCPをまるっとデジタル化！

1 重要事業やリソースをシステム上で管理できる

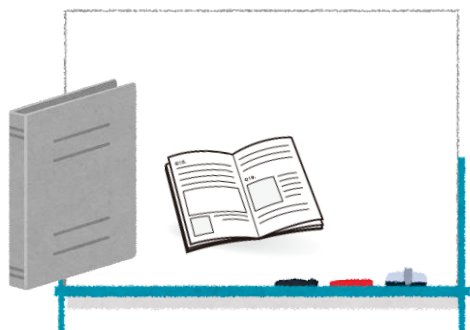
紙ファイルからツールへ
BCMSによるBCPの見直しが容易
BCP管理者への負担減

2 従業員のスマートフォンへBCPを共有できる

冊子からアプリへ
従業員への周知・共有がスムーズ

3 スマートフォンから緊急時の状況を入力できる

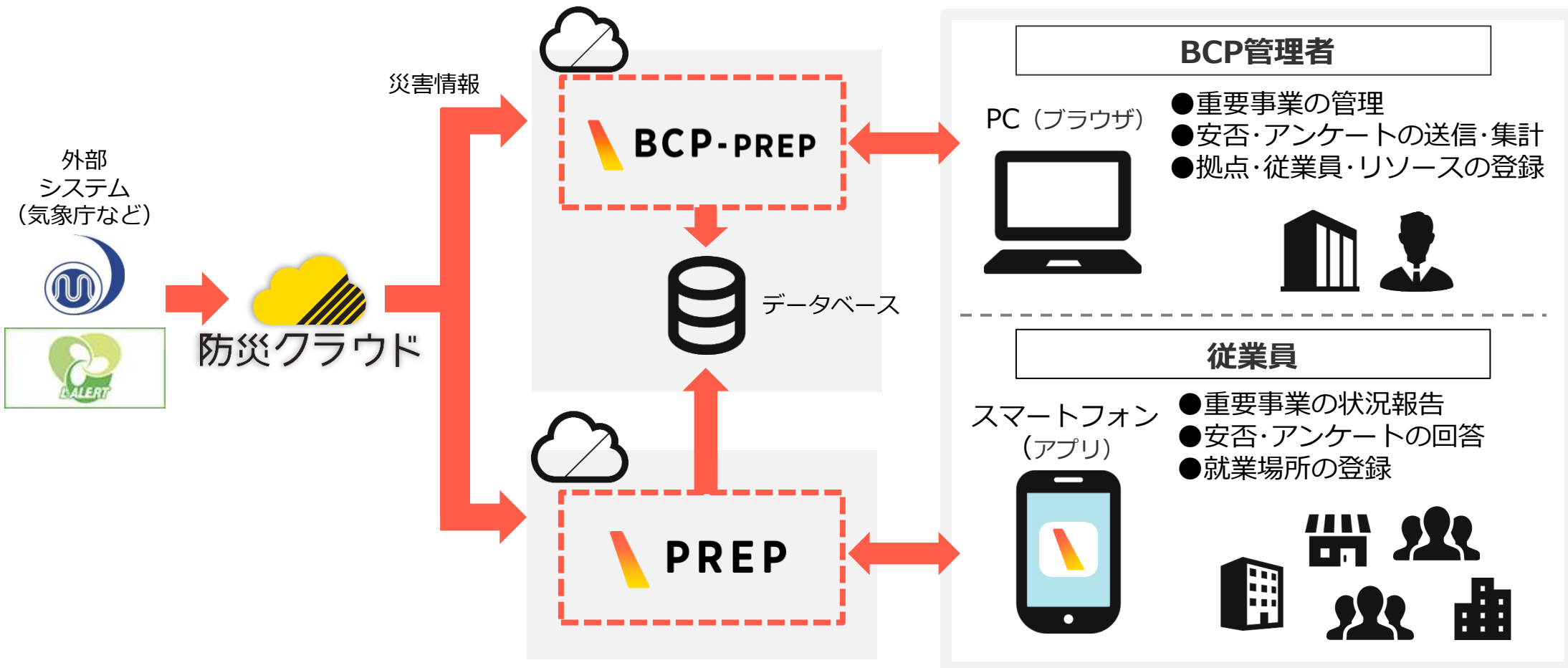
ホワイトボードからダッシュボードへ
重要事業の状況を簡単に共有



BCP-PREPはいざという時のため、
少しずつ**PREP（準備）**する事業継続マネジメント支援アプリケーションです。

4. BCP-PREPとは – システム全体の構成

BCP-PREPはBCPを管理するWebアプリケーションです。他のシステムとの連携によりサービスを提供します。
BCP管理者はPCから「BCP-PREP」にアクセスして重要事業の状況を把握します。
従業員は手許のスマートフォンにダウンロードした防災アプリ「PREP」から状況を報告します。
ふたつのシステムはデータベースでつながっています。災害の発生は「防災クラウド」からお知らせします。



※防災クラウドはNETIS（公共工事等における新技術活用システム）に登録されている新技術を用いたシステムです。

5. BCP-PREPの使い方 – ①緊急時の使い方

安否確認

地震発生等により事業が中断した緊急時には自動的に従業員のスマートフォンに安否確認のお知らせをプッシュ通知で伝えます。従業員が安否を報告するとBCPの管理者は集計結果をダッシュボードで確認できます。



タスク状況の確認

メッセージを使ってタスク状況の報告を指示すると、集計結果や影響を受ける重要事業の状況をダッシュボードで確認できます。



5. BCP-PREPの使い方 – ②導入時の登録

災害の発生を監視するため、本社、事業所等の拠点を登録します。重要事業の状況を管理するため、あらかじめ、BCP策定により抽出した重要事業や会社の部署・従業員を登録します。重要事業のデータには、継続に必要なリソースを割り当てます。

1. 拠点の登録

拠点コード	拠点名	住所
101	本社	東京都新宿区西新宿8-14-21双英ビル
102	関西支社	大阪府大阪市中央区高麗橋2-1-9

2. 重要事業の登録

「重要事業」「プロセス」「タスク」の3階層で登録します。

プロセス	説明	拠点	部署	従業員安否
受注 ● 異常 タスク一覧 >	製品を受注する	本社	営業部	負傷者あり
購買・発注・受入 ● 正常 タスク一覧 >	製造に必要な資材を手配する	本社	資材購買部	

3. 部署の登録

部署コード	部署名
10	総務部 +-
20	開発部 +-
21	事業開発課 +-

4. 従業員の登録

従業員コード	名前	ふりがな	拠点	部署	就業場所
101	山田太郎	やまだたろう	本社	総務部	自宅

※エクセルであらかじめ作成したCSV形式のファイルを取り入れることもできます。
※在宅勤務に対応して就業場所に「自宅」を登録することができます。

5. リソースの割当

「重要事業」の「プロセス」毎に担当する拠点と部署を割り当てます。

プロセス名 必須	<input type="text" value="受注"/> 30字まで
説明	<input type="text" value="製品を受注する"/> 255字まで
拠点 必須	<input type="text" value="本社"/> x v
部署 必須	<input type="text" value="営業部"/> x v

※自社内のリソースのみでなく「取引先」を登録して割り当てることもできます。

5. BCP-PREPの使い方 – ③アプリのダウンロードと設定

従業員の手持のスマートフォンには総合防災アプリ「PREP」をダウンロードします。
ご契約いただいたお客様には企業IDをお知らせします。アプリから登録すると「BCP-PREP」につながります。

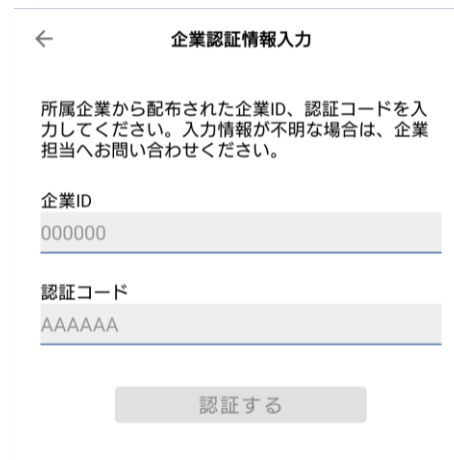


アカウント登録



アプリを利用するための
アカウントを登録

企業ID登録



導入時にお知らせした企業IDと
従業員の登録時に払い出される
認証コードを入力
BCP-PREPとつながります

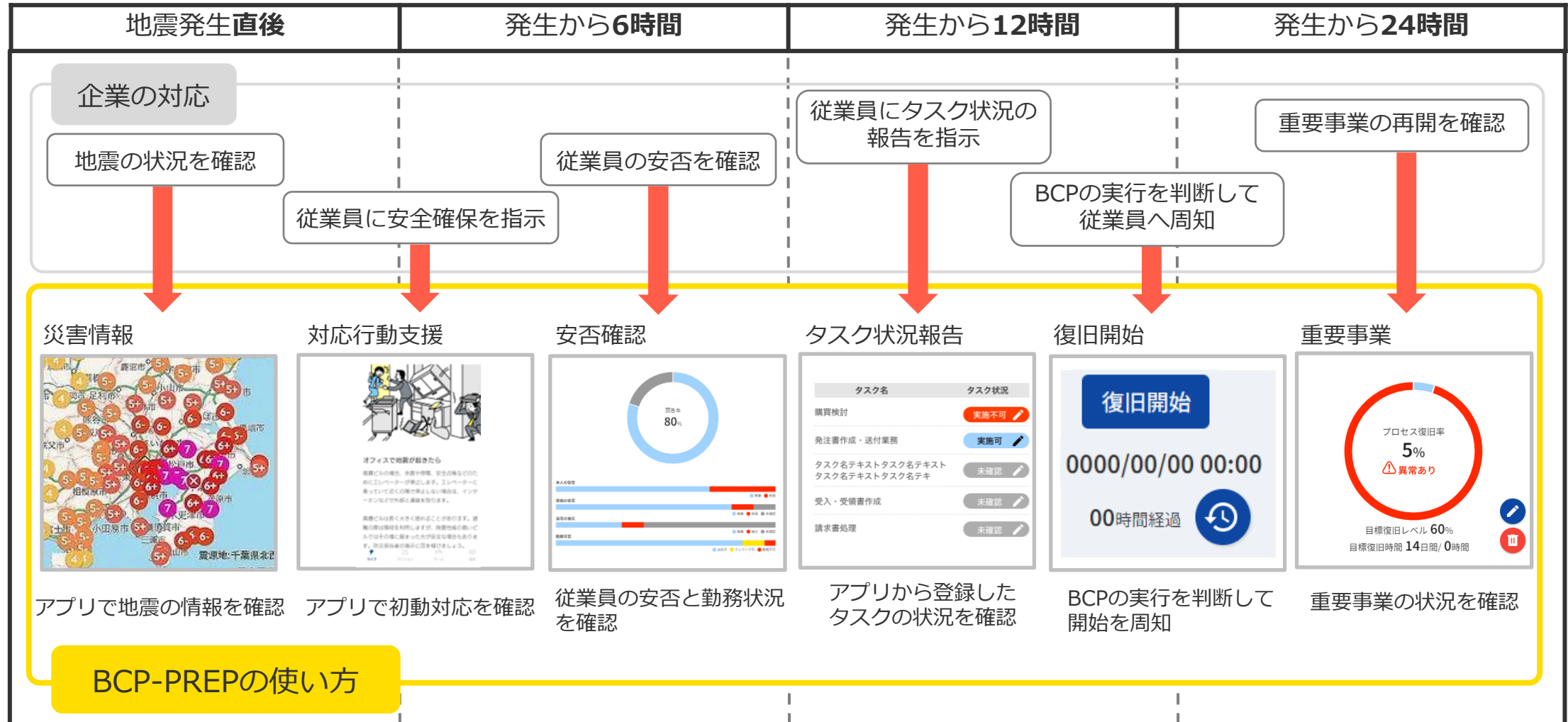
BCPメニュー画面



アプリのチームタブを
タップすると、BCP-PREP用
のメニューが表示されます

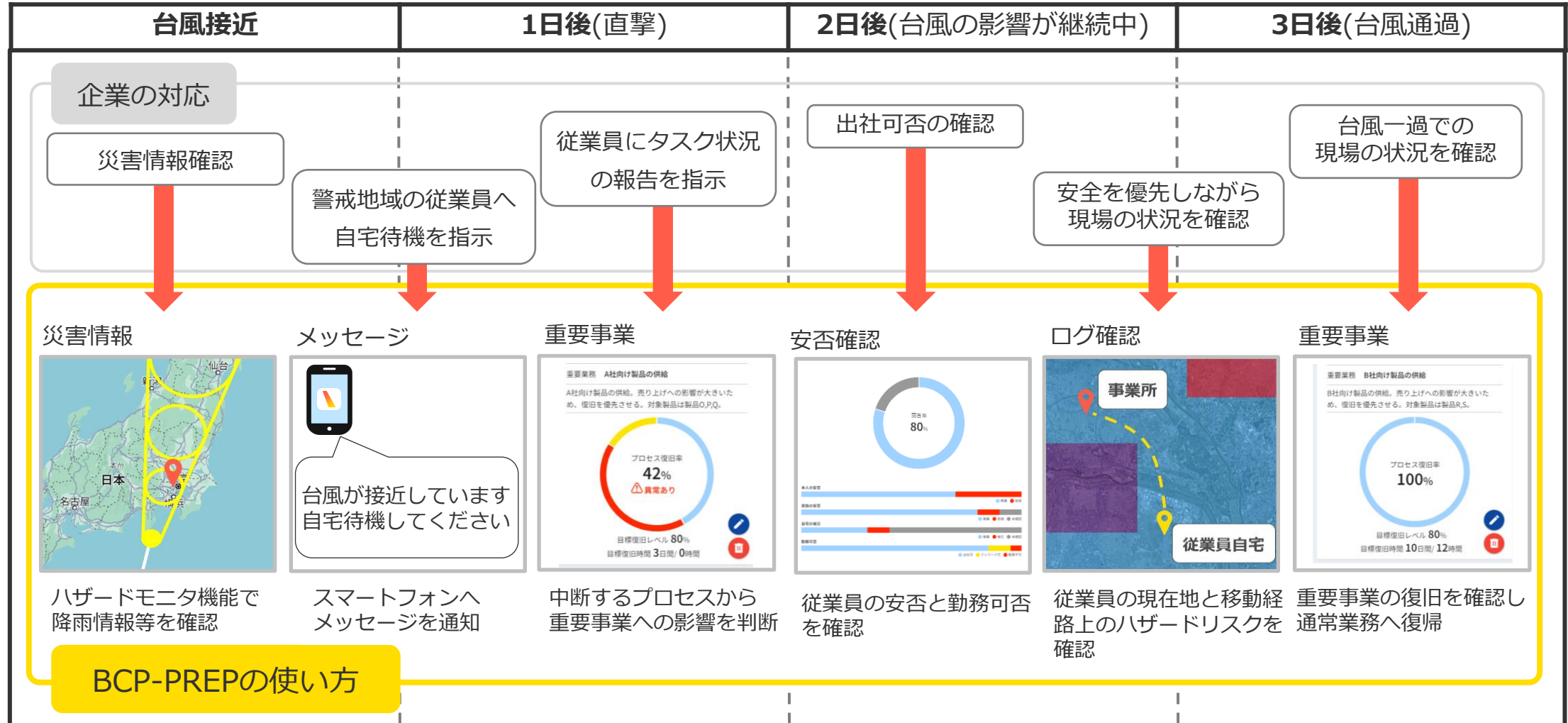
5. BCP-PREPの使い方 – ④BCP実行時の使い方（大規模地震発生時の例）

大規模地震発生後、従業員の安全確保と安否確認を行い、重要事業の状況を把握することができます。BCPの実行を周知して重要事業再開の状況を管理できます。



5. BCP-PREPの使い方 – ⑤BCPを見直すときの使い方（台風接近時の例）

台風接近に応じて、その時の記録を振り返ることでBCPの見直しを図ることができます。



6. 他社サービスとの違い

BCPの実行に用いるサービスは、ひとつの機能に限られているものが大半ですが、BCP-PREPは緊急時に必要な機能をひとまとめにして提供します。

機能	緊急時に必要な機能（緊急時には①から⑤まで順に利用する場面がある）				
	①災害モニタリング	②対応行動支援	③安否確認	④情報収集・共有	⑤重要事業の状況確認
A社サービス (安否確認システム)			○		
B社サービス (気象データシステム)	○				
C社サービス (災害時伝言板)				○	
D社サービス (災害情報システム)	○		○		△
BCP-PREP	○	○	○	○	○

主に気象会社が提供 システム負荷が大きい	主にコンサルティング会社が提供 システムでの提供は希	情報共有ツールは主にIT企業が提供 非常時の使用を前提にシステムを構築		
NETIS登録「防災クラウド」 災害情報を取り扱う技術	10年に及ぶBCP への取組の実績	3.11で唯一、緊急地震速報を配信した 「ゆれくるコール」の通知技術		地震発生後に使用が集中する 「ゆれ体感」等のデータ管理

→ 質の異なる機能であることを理解し、システム開発をしてきた当社は、上記のすべての機能を提供することが可能です

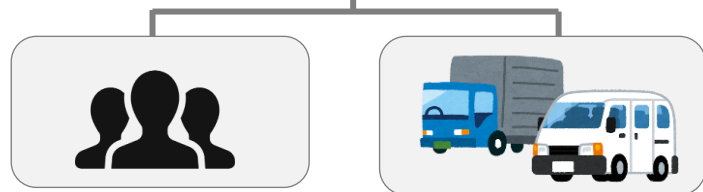
6. 他社サービスとの違い – 代替ツールではできないこと

一般的なツールや日常的に利用しているツールで緊急時に代替しようとしても制約があります。
BCP-PREPは緊急時ならではの機能が備わっています。

代替ツール	通知	対象者の選択	結果の集計
Googleフォーム	✕ 災害時に自動で通知できない	✕ 送信先を都度選ぶか、リンクを別の手段で共有する必要がある	✕ 回答者の結果のみ表示されるため未回答者を判断するのが難しい
Teams	✕ 災害時に自動で通知できない (他サービスとの連携が必要)	△ Teams内で共有 送信対象となる従業員や拠点を調べる必要がある	✕ 回答者の結果のみ表示されるため未回答者を判断するのが難しい
LINE WORKS	✕ 災害時に自動で通知できない (他サービスとの連携が必要)	△ LINE WORKS内で共有 送信対象となる従業員や拠点を調べる必要がある	✕ 安否と勤務可否など、複数の回答を組み合わせて結果を表示できない
BCP-PREP	○ 災害時に安否確認を 自動で通知	○ 警報等が発表された地域の拠点に所属する従業員を 自動で抽出	○ 従業員本人の安否、家族の安否、自宅の無事、勤務可否と 組み合わせて集計 未回答者を表示して 再送信も簡単

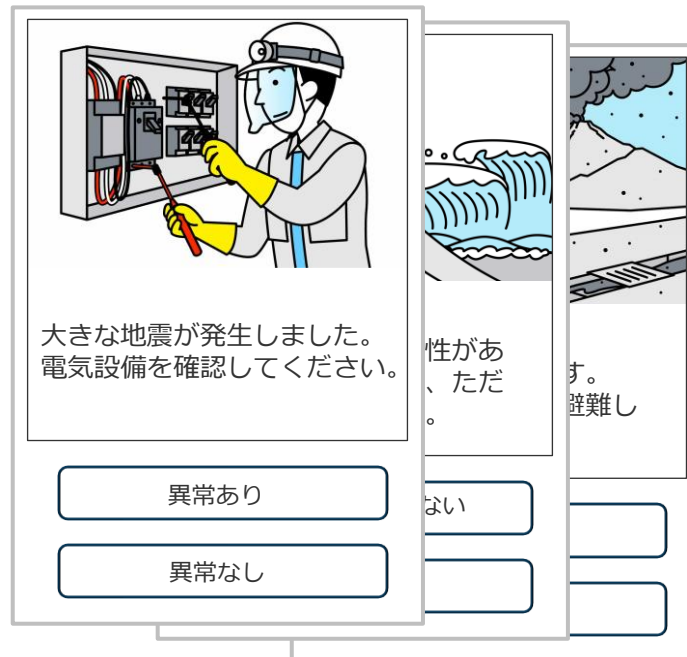
7. BCP-PREPを利用すると ①特長とメリット

1 BCMSによる
BCP見直しの機会を提供
リソースの割当てが容易に変更
できます



プロセス毎に部署や設備、取引先を割り当てることができます。

2 被災直後の
社員の対応行動を支援
アプリで簡単に確認できます



被災直後の初期対応をあらかじめ登録して従業員へ周知することができます。

3 事業所以外の場所も
災害リスクを監視
従業員の自宅や取引先の所在地等
の情報も監視できます



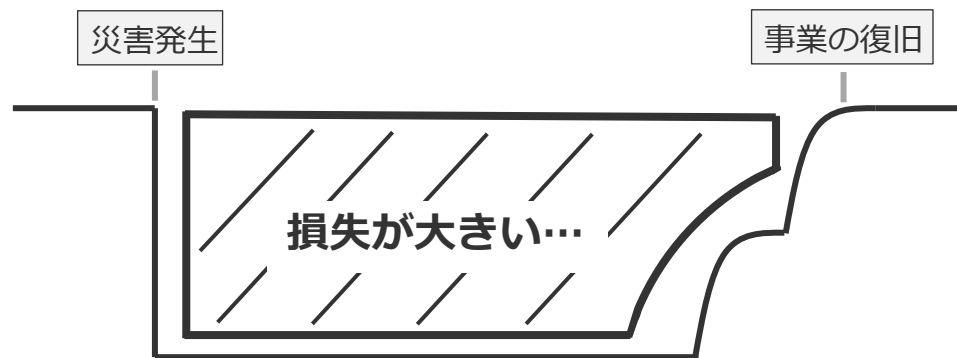
拠点を登録しておく、その場所の地震の発生や気象警報の発表をお知らせします。

7. BCP-PREPを利用すると – ②災害発生時の効果

BCP-PREPのご利用の前は…

BCMSの実施が不十分な状態で災害が発生すると…

事業再開までの損失が大きく、災害発生前の状態に回復するまでに多くの時間、資源が必要



- ① 人、モノ、情報の被害が拡大
- ② 重要事業の再開ができず、取引が不可能に
- ③ 企業イメージが低下

BCP-PREPをご利用いただくと…

日常的にBCMSを実施している状態で災害が発生すると…

早期に重要事業が再開することで全事業の復旧が迅速に行える



- ① コーポレートガバナンスが強化される
- ② 重要事業の早期復旧で損失が小さくなる
- ③ **ビジネスチャンスに強くなる**

会社概要

会社名	アールシーソリューション株式会社
設立	2002年8月8日（大安）
資本金	1,000万円
従業員	32名（男性21名 女性11名）
所在地	東京都新宿区西新宿8-14-21 双英ビル3階
許可	予報業務（地震動）許可第121号 Lアラート一般情報伝達者

自ら予報業務、Lアラート接続の許可をいただき、情報を提供しています。

事業概要



防災・減災ソリューションを事業とし、社会・地域の安全・安心に関わる事業を行っています。システムの開発や運用は自ら行っています。

通信事業者、広告代理店、建設業等、大企業を含む多くの企業や行政機関との取引実績があります。

会社紹介 - ②アプリのご紹介



ゆれくるコール



累計700万DLを突破した、緊急地震速報通知アプリの決定版！



あめふるコール



累計110万DLの降雨通知アプリ
1kmメッシュ単位の高精度の降雨予報をプッシュでお知らせ
10分～週間単位での天気予報も提供



Safety tips



観光庁と提携している
訪日外国人向け防災アプリ
災害情報とわかりやすい事前学習
コンテンツを14か国語で提供



ふくおか防災ナビ
まもるくん



福岡県の防災アプリ
普段の備えやいざという時の行動をイラストや地図でわかりやすくお知らせ

お問い合わせ先

- BCP-PREPのご利用のお申し込みやご利用に向けてのご質問

営業部： 関根 sekine@rcsc.co.jp

- BCP-PREPのカスタマイズやシステム連携に関するご相談

事業推進室： 大本 ohmoto@rcsc.co.jp

- その他のお問い合わせ

電話番号： 03-5386-6571

共通メールアドレス： sales1@rcsc.co.jp